

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 27 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根根拠. Includes details for '採石場土砂流失災害補償事業' and '計画的・効率的な自治体運営の推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (業務内容). Includes details about disaster prevention measures in Sakuragawa City.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者), ④活動指標 (活動量), ②対象 (誰), ⑤対象指標 (対象の大きさ), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for '指定河川流域'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) from 2014 to 2030. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '人件費'.

Table showing '事業費の内訳' (Breakdown of business expenses) for 2017 and 2028, including items like '報酬' (fees) and '補償補填及び賠償金' (compensation). Total for 2028 is 342.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of main activities.

事務事業名	採石場土砂流失災害補償事業	事務事業No.	10109000546	所属課	商工観光課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	昭和50年に旧真壁町で開始された。桜川市真壁町の指定河川地域において、土石等採取事業活動により発生した災害防止・救済を行なうため実施する事業である。昭和61年から流域農家への休耕補償を行っていたが平成18年度で廃止し、当時基金に余裕があったため積立ても停止した。平成25年度委員会において県へ浚渫を要望することとなったが、砂防ダムだったことが判明し県で浚渫できないこととなった。平成26年度の委員会では、今後県へ区と市とで源十郎川上流の河川改修を要望することが決定した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	浚渫を繰り返すだけではいつまでも砂が流出し続けるだけで解決しないので、県へ河川改修を要望していくべきという委員からの意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	樺穂地区の河川流域の中では源十郎川以外の河川の改修が進んでおり、改修されていない源十郎川のみ浚渫をしている状況である。今後は地元住民と市とで協力して茨城県に源十郎川の河川改修を要望して根本的な解決をはかる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地場産業である石材業者の事業に起因し、河川流域の住民の生活に関わることから、石材業者及び市民の保護に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	岩瀬地区の採石業者に関する場所では当事業のような基金は存在せず、行政としての関わり方には再検討の余地はある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	災害が起こらないことが成果であり、災害が起こっていない現状以上の成果は無い。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	浚渫の廃止について協議したが、委員から災害が起こる可能性が指摘されている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	基金の額では起こった災害に対処できないため、災害そのものには国・県の制度で対応することとなる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	浚渫をしなければ災害発生の可能性が高まり、危険である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	樺穂地区の河川流域に対象が限られており、他地区との公平性に疑問がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	真壁町時代に開始した事業であり、基金によって運営されているため、公平性等に疑問がありながらも簡単に廃止できない状況である。 また、浚渫を繰り返しても砂が川に流れ込む状況の根本的な解決にはならないため、根本的な対策を取るべき時期に来ている。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 県に要望しても回収が実現するかどうか先行きが不透明である。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
成果	向上		削減	維持	増加									
	維持			○										
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果														
コスト削減優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>